

総合型地域スポーツクラブに関する各種情報提供

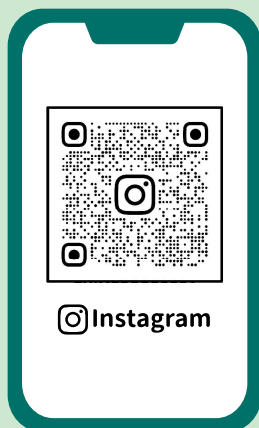
えひめ広域スポーツセンターでは、下記の媒体を通じて情報を随時発信しています。県内の総合型クラブの活動紹介や、県外クラブの取り組み事例、広域スポーツセンターによる支援内容など、クラブ運営に役立つ内容を幅広く掲載しています。

総合型クラブの関係者の方はもちろん、スポーツに関心をお持ちの皆さまにもご覧いただける内容となっております。日々の活動やクラブ運営に、ぜひご活用ください。

えひめ広域スポーツセンター ホームページ <https://ehime-spa.jp/>



愛媛県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 SNSアカウント



えひめ広域スポーツセンター

総合型地域スポーツクラブに関するお問い合わせは「えひめ広域スポーツセンター」までご連絡ください。

TEL 089-965-3111 Mail kouiki@ehime-spa.jp

住所 愛媛県松山市市坪西町551 愛媛県武道館内



えひめ広域スポーツセンター情報誌

総合型クラブだより

第2号

TOPIX

- 1 総合型地域スポーツクラブ活動の様子
- 2 県外訪問の報告(1)(鹿児島県)
- 3 県外訪問の報告(2)(新潟県)
- 4 四国ブロック クラブネットワークアクション2025の開催について



① 総合型地域スポーツクラブ活動の様子

ファンフィールド松山（松山市）

ファンフィールド松山で「親子サッカー」イベントを見学しました。ウォーミングアップからゲーム形式まで、親子で一緒に身体を動かし楽しむ様子が見られました。保護者も参加することで、お子さんとのコミュニケーションや参加者同士の交流が生まれていました。

親子で活動できる場を提供するファンフィールド松山の取り組みは、大きな魅力だと感じました。



（一社）SASAERU（伊予市）

（一社）SASAERUが主催する「ササスポバスケ教室（初心者向け）」を訪問・見学しました。

この日は、バスケットボールを初めて体験する子どもたちが中心で、指導者の話を楽しそうに聞きながら、ドリブルやシュートに挑戦していました。

また、このクラブは伊予市の中学校部活動の運営主体として、今後は経験者向けの指導にも取り組んでいく予定です。少しずつ地域に根差した活動が広がることを期待しています。



のむらスポーツクラブ（西予市）

のむらスポーツクラブによる「キッズバドミントン夏休み教室（高学年対象）」を見学しました。

本教室は、学校の長期休暇期間に、低学年と高学年に分けて開催されており、今回は4日間連続開催の2日目でした。プログラムは、ボール投げやラケットの振り方など、基礎からしっかりと学べる内容となっていました。

参加した子どもたちは、サッカーやダンスなどを習っている子が多い中、楽しそうに汗を流しながら熱心にバドミントンに取り組んでいました。



② 県外訪問の報告(1)(鹿児島県)

6月12日(木)、13日(金)の2日間、鹿児島県の「NPO法人きりしま舞鶴スポーツクラブ」と「鹿児島県広域スポーツセンター」を訪問し、情報交換を行いました。

① NPO法人きりしま舞鶴スポーツクラブ

鹿児島県霧島市で活動する「NPO法人きりしま舞鶴スポーツクラブ」を訪問し、クラブハウス設置の経緯や活動実態についてお話を伺ってきました。舞鶴中学校敷地内に設置されたクラブハウスは、地域と学校の連携の象徴であり、活動も学校・行政と良好な関係のもとで展開されています。

持続可能な運営を目指し、会費収入やボランティアによる事務局体制を構築しており、人員少数をSNSによる広報や最新AIの活用など工夫を凝らしている点が印象的でした。

今後のクラブ運営の参考となる貴重な訪問となりました。



② 鹿児島県広域スポーツセンター

鹿児島県広域スポーツセンターを訪問し、両県の総合型地域スポーツクラブに関する情報交換を行いました。鹿児島県では教育委員会が所管し、教員が運営に関わる体制が特徴的で、独自の認定制度を設けることでクラブの実態把握と支援体制を強化しています。

愛媛県との制度や運営形態の違いを確認でき、今後のクラブ支援の在り方を考える上で貴重な機会となりました。



③ 県外訪問の報告(2)(新潟県)

7月1日(火)、2日(水)の2日間、新潟県の「新潟県広域スポーツセンター」及び、複数の総合型クラブを訪問し、情報交換を行いました。

① 新潟県広域スポーツセンターとの情報交換

初日は、新潟県スポーツ協会を訪問し、新潟県広域スポーツセンターとの意見交換を実施しました。新潟県では34クラブが登録されており、愛媛県よりも20クラブ多い状況です。大半のクラブ設立には行政が関わり、toto助成を活用して設立準備委員会発足から設立総会までの流れが整備されていました。

このような経緯から、行政との信頼関係も厚く、公的団体として委託業務や指定管理業務などを担い、それらが活動資金の重要な柱となって、持続可能なクラブ運営につながっていました。

② NPO法人Tap(タップ)

2日目は、新潟県内の複数の総合型クラブを訪問・見学しました。その中から、津南町(人口約8,000人)で活動するNPO法人Tapをご紹介します。

NPO法人Tapは、温泉や温泉プールを備える「クアハウス津南」の指定管理者として施設を運営しながら、クラブ事業を展開しています。

活動の特徴としては、訪問による運動指導や、介護予防・健康増進を目的とした教室開催などがあります。活動理念は「地域課題に取り組む地域クラブ」であり、運動の基礎や楽しむことを主活動に行っており、競技性を求める人には他のスポーツクラブへの移籍を勧めるという明確な方針を持っていました。

また、情報交換の中で、クラブアドバイザー江村氏が語られた「自助・共助・公助」についてのお話がとても印象的でした。

NPO法人Tapが取り組んでいるのは、この「自助と共助領域の再構築」であり、会員である住民が自立性・主体性を持ち活動するボランティア組織として成長し、他団体との連携・協働を通じて行政の負担を軽減していくことを目指しています。こうした非営利事業体(総合型クラブ)としての組織改革が目標となっているそうです。

江村氏は、NPO法人Tapが地域に根ざした団体として成長することで、総合型クラブの効果が地域全体に広がり、地域づくりにも大きく寄与することを語られました。今回のNPO法人Tap訪問では、このような理念や運営について直接伺うことができ、とても参考になりました。



自助・共助・公助の考え方

自助(自分・家庭) 自らの力で自分のみを助けること

共助(地縁組織) 互いに力を合わせて助け合うこと

公助(行政) 自助・共助では対応できないことを行政が担うこと

これらの3つは、社会情勢に応じてその役割の領域が変化してきました。

④ 四国ブロッククラブネットワークアクション2025の開催について

令和7年11月30日(日)、徳島県の鳴門・大塚スポーツパークにて「四国ブロッククラブネットワークアクション2025」が開催されます。

内容は「総合型地域スポーツクラブが発展するために」のテーマをもとに、各々の総合型クラブ設立時の理念や想いを改めて確認し、今後のさらなる発展に向け、時代を担う人材の確保・育成について考えます。

また、自主財源の確保に関する取り組みや、理学療法士と連携した教室展開などについても、講師を招いて事例やヒントを共有いただく予定です。

地域スポーツに関心をお持ちの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【開催日】 令和7年11月30日(日)10:00～16:30

【場 所】 鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール 視聴覚室

【住 所】 徳島県鳴門市撫養町立岩字四枚61番地

※詳細は、準備が整い次第、えひめ広域スポーツセンターホームページにてご案内いたします。